

発大監第24号
平成25年8月29日

大山町長 森田 増 範 様

大山町監査委員 後藤 洋次郎

大山町監査委員 西山 富三郎

平成24年度決算に基づく大山町健全化判断比率の審査について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により、審査に付された平成24年度大山町健全化判断比率について、審査を実施したので、その結果について、次のとおり意見書を提出します。

平成24年度 大山町健全化判断比率審査意見書

1. 審査の概要

- (1) 審査実施日 平成25年8月23日(金)
- (2) 審査の場所 大山町議会委員会室
- (3) 審査方法

この財政健全化審査は、町長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2. 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

健全化判断比率	平成24年度 (%)	早期健全化基準 (%)	備考
①実質赤字比率	—	13.93	
②連結実質赤字比率	—	18.93	
③実質公債費比率	16.3	25.0	
④将来負担比率	39.5	350.0	

※実質赤字額及び連結実質赤字額は、赤字額がないため、「—」で表示している。

(2) 個別意見

イ. 実質赤字比率について

平成 24 年度の実質赤字比率は $\Delta 4.52\%$ で、早期健全化基準の 13.93% と比較すると、これを下回っている。

ロ. 連結実質赤字比率について

平成 24 年度の連結実質赤字比率は $\Delta 10.29\%$ で、早期健全化基準の 18.93% と比較すると、これを下回っている。

ハ. 実質公債費比率について

平成 24 年度の実質公債費比率は 16.3% で、早期健全化基準の 25.0% と比較すると、これを下回っている。また、平成 23 年度実質公債費比率と比較しても、 0.8% 低下している。

ニ. 将来負担比率について

平成 24 年度の将来負担比率は 39.5% で、早期健全化基準の 350.0% と比較すると、これを大きく下回っている。また、平成 23 年度の将来負担比率 49.9% と比較しても、地方債残高の減少、基金の増加等の要因により、 10.4% 低下しており、改善が認められた。

(3) 是正改善を要する事項

審査に付された地方公共団体健全化法に基づく判断比率は、概ね良向である。

しかしながら、平成 27 年度から地方交付税の合併算定替が逡減する見込みであり、財政状況も厳しい状況が続くものと予測され、必ずしも楽観視できない。

引き続き行財政改革の推進や、町税をはじめとした自主財源の確保、地方債発行の抑制、選択と集中による施策や事業の実施など、より効率的・効果的な財政運営を行い、さらなる財政健全化に努められたい。